

【エントリー情報】

自治体名：さいたま市

学校名（自治体でエントリーされる場合は記載不要です）：さいたま市立美園南中学校

ご記入者：宮内 智

ご役職：

メールアドレス（※業務用のアドレスをご記入ください）：

電話番号（※業務用の電話番号をご記入ください）：

【設問】

① 貴自治体・貴校で目指している目標（ビジョン）・目標に至った背景・想いを教えてください。

（1,500文字以内）※可能な限り自治体や学校全体の目標をご記入ください。

本校は、平成31年4月に開校した新設校ですが、令和2年度に国のGIGAスクール構想にて整備されたネットワークや端末、クラウドサービスなどを活用し、ICTを活用した学びの改革を進めております。令和4年度はマイクロソフト認定教育イノベーター（MIEE 2022-2023：Microsoft Innovative Educator Expert 2022~2023）に8名の教職員が認定され、日本教育工学協会の学校情報化優良校として認定されています。

令和5年度には文部科学省のリーディングDXスクールに指定され、GIGAスクール構想で整備された環境を利用して、生徒の情報活用能力の向上を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、さいたま市内だけにとどまらず、埼玉県内や全国に向けて好事例を発信していけるように研究を進めています。また、マイクロソフト認定教育イノベーター（MIEE 2023-2024：Microsoft Innovative Educator Expert 2023~2024）に6名の教職員が認定され、その上位であるマイクロソフト認定教育フェロー（MIE Fellow 2023-2024：Microsoft Innovative Educator Fellow 2023-2024）に1名認定された。

<https://misonominami-j.saitama-city.ed.jp/shokai/ict.html>



② 目標（ビジョン）に向けた具体的な個人のお取り組み・学校全体でのお取り組み、学校の枠を超えて市や他校へ広がったお取り組みや、その中で発生した課題や苦勞を教えてください。

（1,500 文字以内）

（1）校内を対象とした取り組み

- ・年度初めの4月当初より、クラウドサービスを活用した授業実践の校内研修を実施し、Teams だけでなく、Canva や Kahoot!、Quizlet、ミライシードなどを活用し、生徒の個別最適な学びと協働的な学びができるように取り組んだ。新年度より着任した職員が、他校の先を行っている本校の活用を肌で感じ、驚きとワクワクした感情をもっていた。ICT を苦手としている職員のフォローを行うことで、50人近くの教職員が活用できるような組織づくりを行った。
- ・時間外の勉強会を逐次開催し、新しいサービスの利用についての見識を深め、最新の情報にUPDATE するよう心がけた。

（2）市内を対象とした取り組み

- ・初任者研修を担当し、技術分野担当の3名の教職員の研修を担った。技術分野の教科別専門研修を3回担当し、ものづくりとICT を掛け合わせた、これまでにない教職員研修を提供し、参加した初任者のスキルアップに寄与した。
- ・時間外の自主勉強会をその時のトレンドに合わせて実施し、新しいサービスの普及に努めた。特にCanva のAI 機能についての自主勉強会を早々に開始しており、自治体内へのCanva の展開に寄与した。

（3）その他、個人の取り組み

- ・これまでの取り組みも評価され、マイクロソフト認定教育フェロー 2023-2024（MIE Fellow 2023-2024）の認定を教頭が日本で12番目に受けることができた。また、Canva 認定教育キャンバサダーコミュニティモデレータにも認定され、複数のクラウドサービスの普及をFacebook や note などで図った。
- ・様々な教育イベントのWS 運営や配信に協力し、ベネッセコーポレーションでも取り組みについて発表をさせていただいた。
- ・Microsoft365 公式 YouTube チャンネルにて、Minecraft Education の教育効果についてのインタビューが掲載された。

<https://youtu.be/radcXnQ9ui8?si=JflohPg-PtvGSHno> 開始 4 分 5 秒後経過で出演

・ネットワークの安定化について、協力会社のプレスリリースにて紹介をいただいた。

<https://www.chieru.co.jp/press-releases/products/press-releases-11119/>

※MIE Fellow 2023-2024

https://www.credly.com/badges/c0d25444-905f-4e53-82d3-247fde6da517/public_url

Canva 認定教育キャンバサダー

note <https://note.com/miyasat/>

ベネッセコーポレーションでの発表



[https://www.canva.com/design/DAFvP8v2iqg/NxDZZOiK-](https://www.canva.com/design/DAFvP8v2iqg/NxDZZOiK-aLGA9VTrJ6hQ/view?utm_content=DAFvP8v2iqg&utm_campaign=designshare&utm_medium=link&utm_source=publishsharelink)

[aLGA9VTrJ6hQ/view?utm_content=DAFvP8v2iqg&utm_campaign=designshare&utm_medium=link&utm_source=publishsharelink](https://www.canva.com/design/DAFvP8v2iqg/NxDZZOiK-aLGA9VTrJ6hQ/view?utm_content=DAFvP8v2iqg&utm_campaign=designshare&utm_medium=link&utm_source=publishsharelink)

③ **(3-1) ICT を活用することで、先生のご指導や働き方、児童・生徒の学び方や学習への態度、学習成果などにどのような変化があったか、またこれらの変化をどのように評価されているか教えてください。(2,000 文字以内)**

・学びの基盤として、クラウドサービスを中心に

これまでの授業では、教科書やノート、問題集、資料集などに情報が散逸し、また、それぞれの授業ごとに管理をする必要があった。現在もすべて解消はできていないが、学びの基盤をクラウドサービスに集約することで、学びの入り口が統一化され、授業や宿題に迷いなく取り組めるように変わったように感じる。

また、教職員は ICT を活用して資料を再利用したり、提示資料と配布資料を共通化したり、印刷していたワークシートや資料を電子配付することにより、細かい部分での効率が図られたように感じる。

・教え方の変化

すべての授業で徹底できているわけではないが、Teaching から Coaching に教職員の意識が変化し始めている。一斉授業も必要な箇所では実施してるが、指導方法や提示方法の工夫が教職員に見られる。本エントリーシート提出時には未公開であるが、1月 22 日前後に、本市の YouTube チャンネルに本校の授業風景が公開される予定である。

<https://www.youtube.com/@saitamacitypr>

(3-2) ICT 活用による成果について、定量的なデータでお示し可能なデータがあれば、教えてください。(1,500 文字以内文字以内) ※本設問のみ任意回答

英語の学習において、Reading Progress での発音練習、Quizlet や Kahoot!での単語などの繰り返し練習、学習者用デジタル教科書の利用を推進したことで、GTEC のスコアはさいたま市内でもかなり高水準であった。

令和 4 年度ではあるが、マイクラフトカップ 2022 に生徒が自主的に参加し、北関東地区で優秀賞

を受賞した。

https://www.youtube.com/live/cN8-mu_Pu9A?si=V2msMCICfLxmXeg5&t=7162

④ お取り組みの中でのミライシードの活用画面・活用機能お取り組みの中でミライシードが役立った場面・活用頂いたアプリ/機能を教えてください。

※活用エピソードが複数ございましたら、文字数制限内でご記入ください。1つのエピソードに絞る必要はございません。(2,000文字以内)

・ドリルパーク

漢字の練習において、有効であった。国語の教科書に準拠してはいないので、そこは使いづらいとのコメントが担当者からあった。

・ムーブノート

特別支援学級の国語において、「いつ、どこで、誰が、何をした」といった、順番があるものの並び替えに取り組んでいた。また、理科で動物について調べる学習では、ムーブノートで作業をしてその様子を教職員が画面を見て支援するなどしていた。